2025年度春入学
日本語基準合格者向け

1月以降合格者向け

APU Pre-enrollment Study Guide

APU 入学前スタディ・ガイド

目次

入学部長からのメッセージ.....1

【はじめに】
APU 生に求められる力とは.....2

【入学前の英語学習について】
英語入学前講座一覧.....6

【入学前教育教材（英語学習課題)】 ※11 月・12 月合格者の方は原則必須、1 月・2 月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。
英単語課題：NGSL (New General Service List)/ボキャブラリーノート作成.....7
多読課題：Xreading.....13
オンライン英語総合学習教材：Practical English 8.....16

【入学前教育教材（数学学習課題)】 ※11 月・12 月、1 月・2 月合格者の方は可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。
数学課題：AI 教材 atama+.....17

【入学者向け推薦教材（推薦図書・映画等）】
推薦教材一覧..... 20

【入学後プログラム】
FIRST.....23

立命館アジア太平洋大学
入学部部長
佐藤 浩人

APU へようこそ。

この冊子を受け取った時点で，入学までに残された時間も，これまでの学習状況も様々かとは思います。そのような中で，各自が APU での"Global Learning"を最大限に活かす準備として，入学までの時間を有意義に使っていただくためにこのスタディガイドは用意されています。4 年間の学生生活は長いようであっという間です。できることは少しでも早くスタートを切っておきましょう。

まず，ぼんやりとでも具体的な目標をお持ちの皆さんは，ゴールから逆算して今すべきことをきちんと見定めて取り組み始めてください。例えば，交換留学やダブルディグリープログラムを考えているのであれば，英語試験のスコアは必須になります。自分の目標のためにはいつまでにどの程度のスコアが必要で，そのためには今何をしなければならないのかをきちんと考えて，日々の努力を積み重ねていきましょう。既に目標に向けてスタートを切っている皆さんはその調子で頑張っていただければと思います。

まだ具体的な目標は無いという方も，無為に時間を過ごすことなく高等学校での学習等を通じて力を蓄えておきましょう。高校までの学習は役に立たないと勘違いをしてしまっている方がいらっしゃるかも知れませんが，当然高校での学習は大学での学びの基礎になってきます。自分に足りない部分を見極めて，入学前の講座等を活用して基礎的な力を高めておいてください。

APU において英語が重要であることは御理解いただいているかとは思います。英語基準学生とのコミュニケーションもとりやすくなりますし，少しでもレベルの高い英語クラスからスタートできる方が，学生生活における選択肢が増える可能性が高いことは否めません。一方で，全ての基本は国語と数学であるとも考えています。本質的なこれらの力は思考力そのものと言って差し支えないもので，他のことを学ぶ上での基礎ともなるでしょう。AI に仕事を奪われるのではなく，AI を活用していくためにもより深く考える力が重要でしょう。一朝一夕に力を伸ばせる領域ではないかとは思いますが，時間があるうちから着実に取り組んでおきましょう。

大学で学ぶ専門分野の知識も重要ですが，社会に出てからも随時新しいことを学び続けていかなければなりません。その意味でも新しい何かが必要になったときに，どのように学べばよいのか学び方を学んでおく，学ぶ能力を高めておくことが，大学での学びの中でより重要になります。4 年間の学びをより有意義なものにするためにも，その先のためにも，学習習慣を確かなものにし，自分の学び方を確立することも見据えながら，入学までの時間を有効に使っていきましょう。

今より少しでも成長した皆さんとキャンパスでお会いできることを楽しみにしております。

APU 生に求められる力とは

このページは、入学までに復習しておいて欲しい学習内容を具体的にまとめたものです。将来皆さんが世界で活躍するためにも、しっかりとした基礎学力と学習習慣を身につけましょう。こうした力が身についていてこそ、これからの APU での学びが最大限生かせるのです。

学習面

■英語

APU 生が目指すべき英語力とは

- 以下を英語でおこなうことができる。
  - ✧ 自身の考えや意見を口頭あるいは文章で明確に表現する。
  - ✧ 海外で仕事をしたり、旅行したりする過程で他文化への理解を深める。
  - ✧ 多国籍なグループの一員として、またはリーダーとして仕事をする。
  - ✧ 学問、または仕事上で、①交渉により問題解決を図ることができる ②批判的思考をもって他者の考えや意見を分析することができる。
- 自立した学習者として英語の知識や技能を生涯にわたって向上させることができる。

APU の英語教育

APU の英語教育は、継続的に英語力を伸長できるシステムとなっています。入学前に受けるプレイスメントテストの結果によって自分に合った英語レベルから始められるという利点があるものの、「英語初級」からの履修開始となると、必修の英語科目を修了するまでに少なくとも 2 年かかることになります。加えて、各級には 2 科目（A と B）があり、いずれか一方でも F 評価(不合格評価)となると、同じ級に留まりその不合格科目を再履修しなければなりません。万が一 F 評価を 2 回取ってしまうと、4 年間で卒業することはかなり厳しくなります。

また、卒業するためには、上記の語学としての英語科目以外に、英語で開講される科目を20単位（10科目）以上修得することが必要※ともなっており、これから入学までの期間でいかに英語力を底上げできるかが、4年間の学生生活を決めると言っても過言ではありません。そこで、入学までに以下の点を各自で取り組むことをお勧めします。

※対象は日本語基準国内学生のみとなります。卒業のために必要な単位等の詳細は、入学後に各自で確認してください。

英語履修科目〔スタンダードトラック・24単位必修〕

科目名(単位数)		プレイスメントの目安 (IELTS)
英語初級A（4単位）	英語初級B（2単位）	4
英語準中級A（4単位）	英語準中級B（2単位）	4.5
英語中級A（4単位）	英語中級B（2単位）	5
英語準上級A（4単位）	英語準上級B（2単位）	5.5

入学前までに準備すること

(1) 入学前課題に取り組むこと

入学前課題の詳細は「入学前教育教材（英語学習課題）」「入学前教育教材（数学学習課題）」を参照すること

(2) 復習しておくべきこと

✧ 動詞の時制、主語と述語の一致を完璧にする

✧ 助動詞、形容詞、前置詞の用法、その他高校までに学習した文法事項を総復習する

✧ 高校までの単語の復習(基本の2000語必須)

(3) 入学前課題のXreadingで学習者用の簡単な英語本を毎日読み、英語に慣れておく

(4) ゆっくりとしたスピードの英会話ならほぼ聞き取れるようになっておく　※お勧めサイト：http://www.elllo.org/

■数学

アジア太平洋学部（APS）

データ分析や論理的な思考において、数学的知識は不可欠です。

以下二点は入学までに取り組んでほしい項目になります。

(1) 復習しておくべきこと

中学校までに学んだ内容(特に式の計算、ベン図、方程式、一次・二次関数、統計・確率)

数Ⅰ・数A(特に式の計算、方程式、不等式、場合の数と確率、論理と集合)

(2)基本的な計算は暗算で、素早く処理できるよう練習しておくこと

なお、入学前課題として提供している数学課題（atama+）で指定した単元は、上記二点を踏まえ、まずおさえてほしい単元を選定しています。入学前までの数学知識の維持・向上に活用してください。

国際経営学部（APM）

APMでは、卒業までに数学・統計学を必ず履修し、単位を取得する必要があります。

入学前課題として提供する数学課題（atama+）で指定している単元はそれらを踏まえたものになります。

また、多くの科目において数学の知識や考え方は必要不可欠なものになっています。

これまでの学習の到達点や数学への意識はそれぞれかとは思いますが、

入学までに自分に必要と思われることを見極めて学習目標を設定した上で、最後まできちんとやり遂げるようにしてください。

★復習しておくべきこと

☐　文字(x, y ,z. . . a,b,c. . .)を含む式(整式)の和・差・積・商

☐　平方根を含む数式の計算

☐　２次式の因数分解

☐　２次方程式、２次不等式

☐　グラフから関数を求める(１次関数、２次関数)

☐　２次関数の微分(接線の傾き)

☐　指数・対数の計算

☐　級数

1.数学はずっと避けてきた方

四則演算などの基礎的な計算に不安がある方は、

入学前課題として提供する数学課題（atama+）に取り組む前に100ます計算や脳トレなどを

用いたリハビリから始めてみるとよいかと思います。
基礎の基礎からトレーニングし直すことで苦手意識の克服につながるかも知れません。

2.数学に少し苦手意識がある方や数学をある程度は勉強したが十分ではないと感じている方
入学前課題として提供する「atama+」で基礎固めをしておくことをお勧めします。
ただし、最初は簡単過ぎると感じても、手を抜かずに最後までやり抜くこと。

3.数学Ⅱ・Bの学習内容まで十分に理解できている方
入学前課題として提供する「atama+」では数学Ⅱ・Bの単元も含んでいます。
まずはこれを活用し、復習・確認をしてください。
ただ、数学や統計学を自分の武器にしたいのでこの内容では物足りないという方は、
統計検定やプログラミング言語などに挑戦してみてはいかがでしょうか。

サステナビリティ観光学部（ST）

データ分析や論理的な思考において数学的知識は不可欠です。
以下二点は入学までに取り組むとよい項目になります。
(1) 復習しておくべきこと
- ✧ 小 ・ 中学で学んだ内容(特に式の計算、ベン図、方程式、一次・二次関数、統計・確率)
- ✧ 数Ⅰ・数A(特に式の計算、方程式、不等式、場合の数と確率、論理と集合)

(2)基本的な計算は暗算で、素早く処理できるよう練習しておくこと

なお、入学前課題として提供している数学課題（atama+）で指定した単元は上記二点を踏まえて、まずおさえてほしい単元を選定しています。入学前までの数学知識の維持・向上に活用してください。

■国語

入学前に準備すべきこと

(1) 復習しておくべきこと
- ✧ 常用漢字・高校までに学習した四字熟語・ことわざ・故事成語・慣用句などを復習、暗記する
- ✧ 文学史は近現代文学を中心に復習する

※上記2点は、大学生の常識としてあらゆる場面でその知識が求められます

(2) 読書習慣を身に付ける(様々なジャンルから、週一冊以上の本を読むことを目標とする)
(3) 新聞を毎日読むなど、長文の現代文を抵抗無く読み続ける力を養う

■社会

入学前に準備すべきこと

(1) 復習しておくべきこと
- ✧ 高校で使用した世界史及び日本史の教科書を読み返しておく(年号などの詳細な情報を記憶する必要はないが、大きな世界と日本の流れを理解する)

生活面

■規則正しい生活習慣を身につける

- ✧ 入学準備のための学習時間を、高校の授業がある時期は最低2時間(テスト期間は除く)、冬休み及び春休み期間中は最低4時間確保する
- ✧ 早寝早起きの習慣を身に付ける(夜更かしは厳禁、7時までには起きる習慣をつけること)

■大学生活のスタートを前に大学で何がしたいのかを明確にする

- ✧ 大学のWebサイトなどから大学生活で出来ることを理解し、4年間の大学生活をプランニングする

英語入学前講座一覧

STEP１：受講レベルの確認

現時点での英語習得度、または英語検定試験の獲得スコアによって、あなたに推奨される教材・課題が違います。

まずはあなたの該当する受講レベルを下表で確認してください。

✧ **プレエントランスデー参加者**

プレエントランスデー参加者は、英語力診断テストを受験します。その英語力診断テストを受験した場合、以下を参考にしてください。（未受験の場合は下記の「プレエントランスデー不参加者」を参考にしてください）

＊１

受講レベル	英語力診断テスト（GSE※1）
A	～ GSE 30 - 35（CEFR A2）
B	GSE 36 - 42（CEFR A2+）
C	GSE 43 ～（CEFR B1～）

GSE…Global Scale of English の略。ピアソン社が開発した英語力診断テストから英語能力を客観指標化したもの

✧ **プレエントランスデー不参加者**

下表の言語試験のスコアを参考にしてください。

受講レベル	英検（目安）	IELTS（目安）	TOEFL iBT（目安）	GTEC For Students（目安）	TOEIC L&R（目安）	CEFR（目安）
A	～準２級	~3.0	-	～679	～310	～A2
B	２級	3.5～4.5	-	680～959	315～ 440	A2+～B1
C	準１級～	5.0~	42~	960~	445~	B1~

STEP２：入学前に取り組むべき課題の確認

受講料が必要な場合は各自の負担になります。

課題種別	課題	詳細情報記載ページ
必須課題	NGSL（英単語課題）	7
	ボキャブラリーノート	12
	Xreading（英語多読課題）	13
	Practical English 8	16

※レベルによって一部課題の範囲や内容が異なります。詳細は各課題の詳細情報記載のページを確認してください。

NGSL (New General Service List)（英単語課題）

◆入学前必須課題 ※11 月･12 月合格者の方は原則必須、1 月･2 月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。

APU では、英単語の学習に NGSL という英単語リストを使用しています。NGSL は初級レベルから上級レベルまで幅広い重要単語を網羅しており世界中で活用されています。アプリ(無料)を活用して学習できるので継続した学習習慣が身につきます。移動時間などを利用して必要な英単語をしっかりと身に付けましょう。

課題内容

■到達目標

受講レベルに応じて以下の範囲の英単語を覚える。

使用アプリ Quizlet

受講レベル	ターゲットの英単語 No. (リストの Rank)
レベル A	No. 801～1300
レベル B	No. 1301~1800
レベル C	No. 1801-2300

※実際取り組んでみて、難し過ぎる、簡単過ぎると感じた場合は、別のレベルに取り組んでも OK です。

■受講のポイント

- 毎日の隙間時間を利用して継続的に覚えましょう。
- アプリには様々な学習方法があります。自分の覚えやすい方法を見つけましょう。
- 入学後のスタートダッシュのためにターゲットの英単語は完全に覚えきりましょう。

■補足説明

NGSL について

NGSL リストとは、New General Service List の略で、英語圏で最頻出の単語をリスト化したもので、番号が小さいほど易しく･頻出度が高くなります。APU では学修レベルにあわせて 500 単語ずつ振り分けています。

初級(Elementary): 801-1300
準中級(Pre-Intermediate): 1301-1800
中級(Intermediate): 1801-2300
準上級(Upper-Intermediate): 2301-2809

リストの全体版はこちらにあります。しかし、リストだけでは覚えにくいので、アプリを活用しましょう。
(大学で管理するクラウド上にあります。右の QR コードでもアクセスできます。)
リスト全体：https://1drv.ms/x/s!Avzsqyk0KZc5njs_GzE2H0e8_1pK?e=q1aPAD
※リスト全体は使用機器やソフトウェアの環境によっては閲覧ができない場合があります。
その場合はアプリのみ活用してください。

学習アプリ(Quizlet)について

無料で利用できる学習アプリで APU の学生も利用しています。皆さんが学習しやすいように、皆さん用のグループや学習コースを予め用意しております。次のページ以降でアプリの登録方法、グループへの参加方法や学習コースの登録方法を説明します。

NGSL学習アプリ

Quizlet

受講レベルA →
NGSL 801-1300を中心に覚える

受講レベルB→
NGSL 1301-1800を中心に覚える

受講レベルC→
NGSL 1801-2300を中心に覚える

Vocabulary Learning with Quizlet

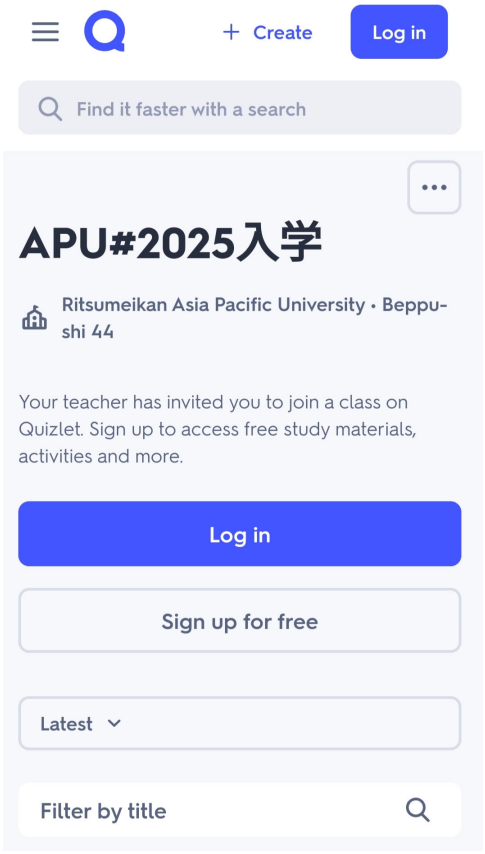
NGSLリスト 学習アプリ 使用方法

Quizlet

1. https://quizlet.com/join/kBzGsp3Kn?i=26bjug&x=1bqt にアクセス

Scan

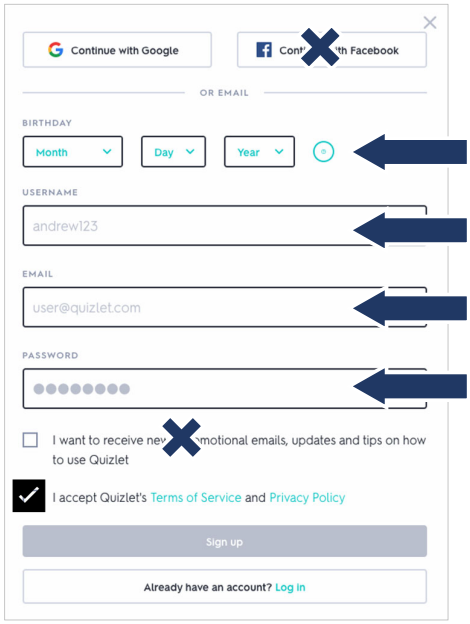
QRコードからでも可



クリック

2. 無料アカウントを作成

Quizlet



グーグルアカウントを持っていればそれでログイン可能

有料アカウントを作る必要はありません！！
無料プランで作成しましょう。

誕生日

ユーザ名はアルファベットで姓_名の順で（例：BERGER_Maiko）

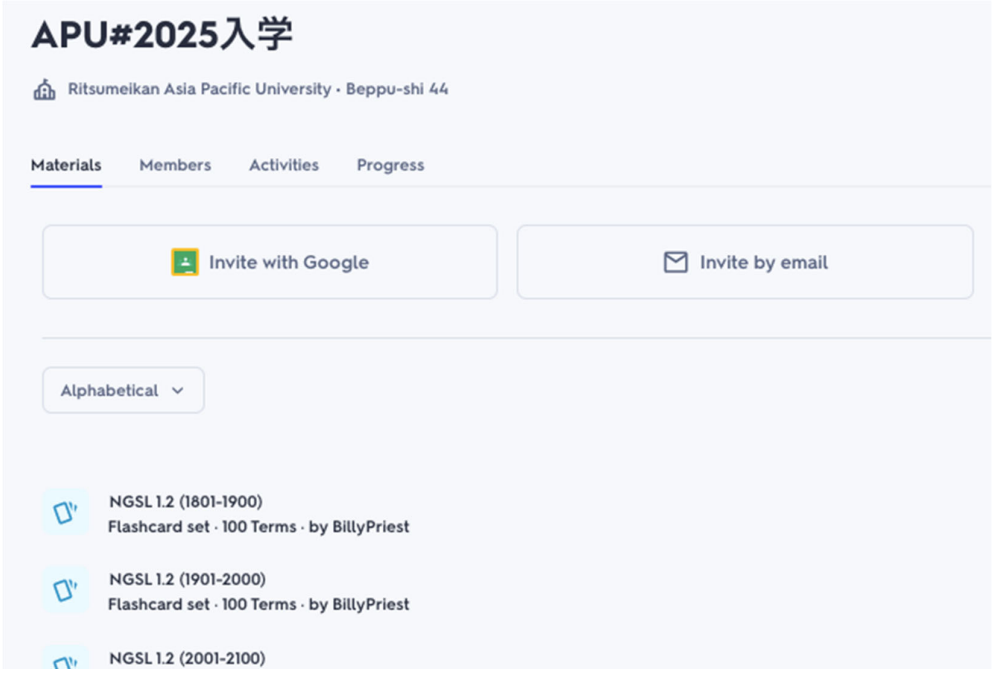
Eメールアドレス

パスワードを入力

3. 登録完了

Quizlet

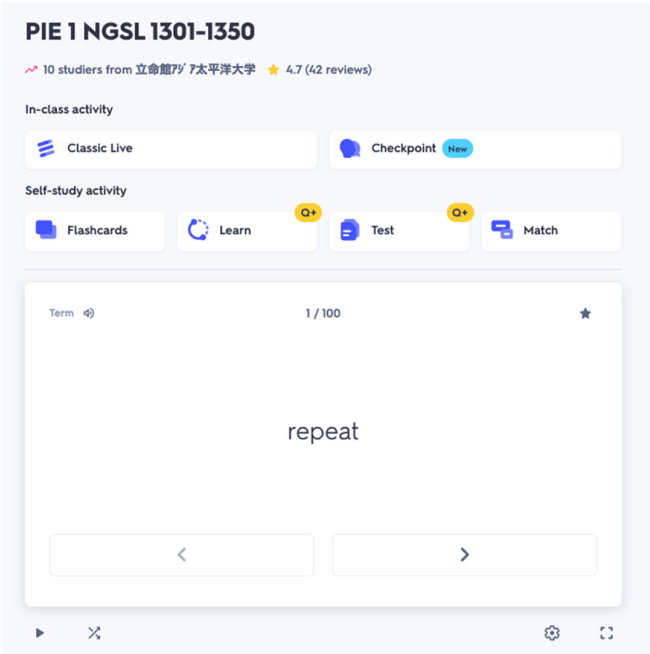
学習セットを選択して練習を開始します。１つのセットにつき、４種類の練習（次ページ参照）ができます。



4. 学習開始

Quizlet

学習セットを選択して練習を開始します。１つのセットにつき、４種類の練習（次ページ参照）ができます。



NGSL番号	入学時レベル	参考
801-1300	初級 (ELE)	英検準２級以下
1301-1800	準中級 (PIE)	英検２級程度
1801-2300	中級 (IE)	英検２～準１級程度

自分の現在のレベルに合ったリストを選びましょう。

5. 練習方法

フラッシュカード： 英単語の定義が英文で確認できます。

学習モード： 定義を見て４択もしくはタイピングにて英単語を答えます。動詞の活用や主語と一致させることができるか、例文に合わせてタイピングすることで単語力に合わせて文法力を鍛えます。

テストモード： 定義を見て単語を書いたり、単語と定義を合わせたり、定義から正しい単語を選んだり、定義を見て単語が正しいかどうか判断したりします。

マッチングゲーム： 単語と定義を合わせます。

6. 追加機能

自分で他の単語セットを検索して、セットに加え、無限に学習することができます。

是非自主学習に役立ててください。

ボキャブラリーノート作成（英単語課題）

◆入学前必須課題　※11 月･12 月合格者の方は原則必須、1 月･2 月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。

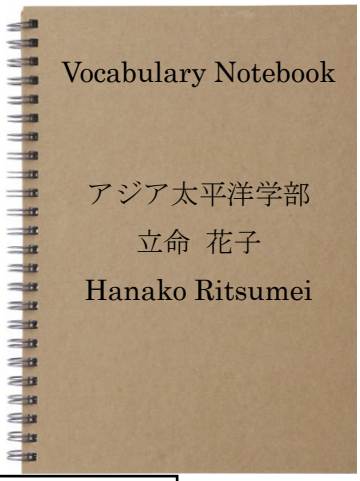
NGSL の学習で間違った単語をノートにまとめましょう。APU 入学後も英語の授業で同じような自主学習ノートを作成する場合があります。入学前からノートにまとめる習慣をつけましょう。

課題内容

■到達目標

NGSL の学習で誤った単語を週 20～35 words ノートにまとめる。

注：本課題の提出は行いません。

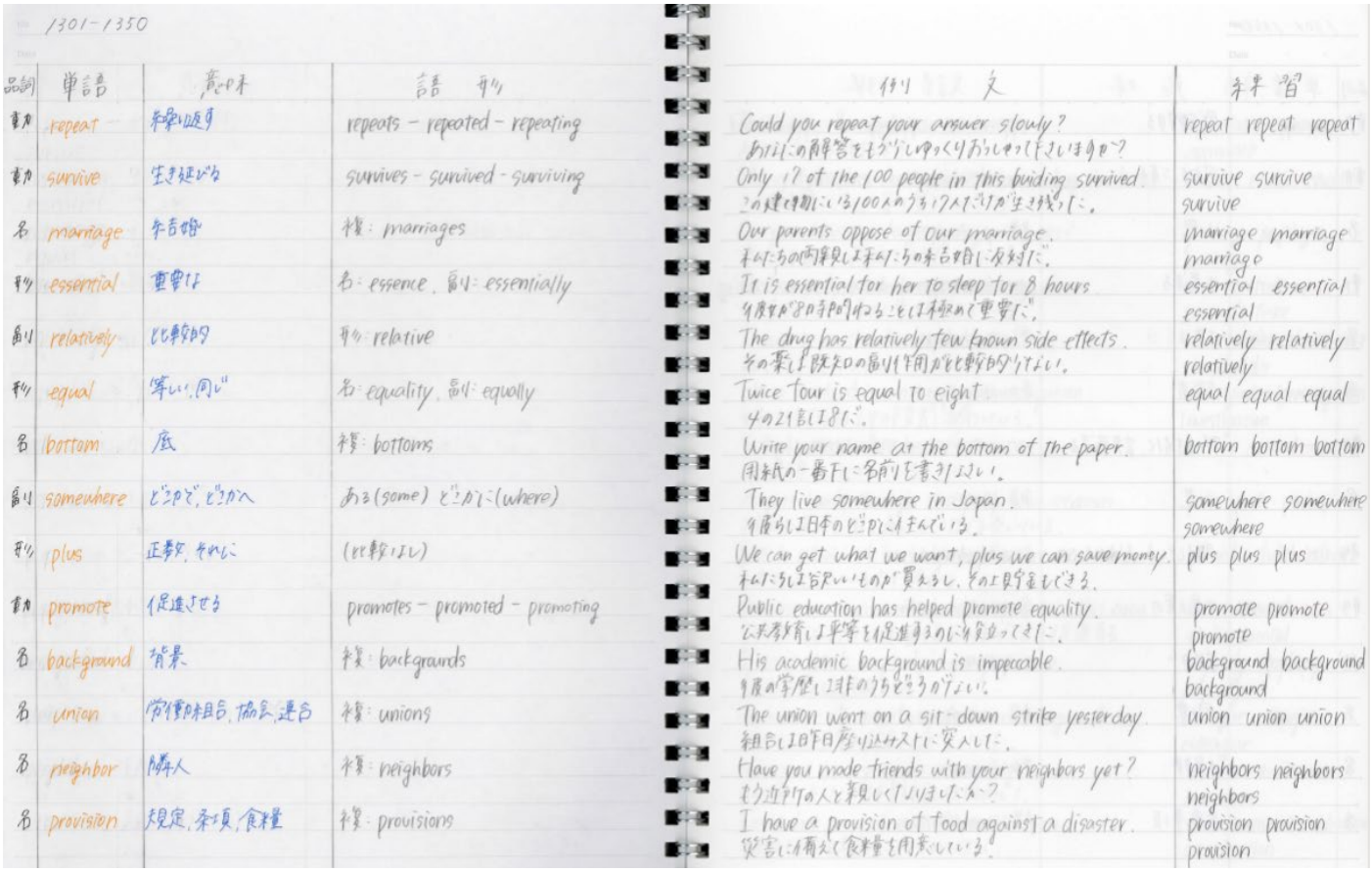


■受講のポイント

- ノートを各自準備してください。どんなノートでも大丈夫です。
- ノートはみなさんの好きなように作成していただけますが、
  以下の内容をノートに盛り込む参考にしてください。

単語、単語の品詞（名詞、動詞、形容詞など）、意味
単語の語形（eatの場合 eats, eating, ate）、 例文、 自分で作った単語を使った文、
綴りが難しいものは何度か練習をする

■作成例



Xreading（多読課題）

提供：Xreading

◆入学前必須課題 ※11 月･12 月合格者の方は原則必須、1 月･2 月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。

様々な研究により、多読が英語の全技能を伸ばすのに有効であることが証明されています。多く読めば読むほど、より読解力がつき、語彙力も伸びます。また、英語で本を読むことで知識や感動を得ることもできます。さらに、各学部の専門科目を英語開講で履修する際には、毎回授業の予習で教科書の 1 章(10 ページ以上)を読むことが求められます。多読課題は大学での学修のよい準備学習となります。まずは 1 日 20 分、毎日読むことを習慣にしてみてください。

課題内容

■到達目標

毎日 20 分程度、週に 2000~5000 単語は読むよう習慣づけることを目標とする。開始時期によるが、入学までに 6 万語以上読むのが望ましい。（2023 年春入学生の最多読者は 100 万語、2024 年春入学生の最多読者は 201 万語、平均で 3 万 7 千語読了して入学しました。）

■受講のポイント

- 簡単で面白そうな本を探して読むこと。
- オーディオがある本は聞きながら読むことをおすすめします。
- 読めば読むほど、読解力がつき、語彙力も定着します。速く読みすぎないように注意してください。目安は 1 分間に 100 語程度です。

■申込みについて

申込み方法	下記「受講の流れ」を参照してください。
受講料	1,650 円（税込）
入金方法	クレジットカードまたは銀行振込･ゆうちょ銀行振込。 ※銀行振込、ゆうちょ振込を選択した場合、入金確認後の発送となります。
問合せ先	APU英語科目担当教員　ベルガー舞子　maiko@apu.ac.jp
備考	インターネットに接続されているパソコンやスマートフォン等が必要です。

■受講の流れ

1．アクセスコードを購入（インターネットより注文）

インターネットでの注文にてアクセスコードを購入してください。料金は 1,650 円（税込）です。注文の際に、学校名（立命館アジア太平洋大学）、担当教員名（ベルガー舞子）をコメント欄に明記してください。アクセスコードは Englishbooks.jp 社よりメールで届きます。

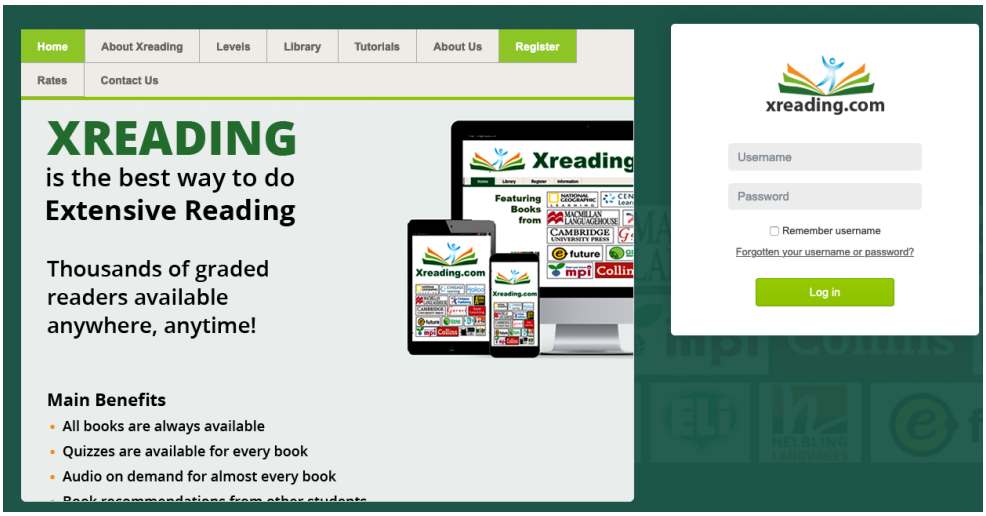
https://www.englishbooks.jp/catalog/product_info.php/xreading-month-subscription-digital-access-code-for-students-9784865390698e-p-51369

2．クラス登録

Xreading 利用のために、以下のページ（左の QR コードと同一）にアクセスし質問フォームに回答してください。 Microsoft Forms
https://forms.office.com/r/RSEQyzKMbu
（Microsoft Forms へ移ります。）必要な情報を入力して１週間以内にクラス登録完了通知が届きます。メールが届かない場合は、フォームに記入したメールアドレスが間違っている可能性がありますので、再度回答してください。

3．Xreading へ登録

クラス登録完了メールが届いたら、課題を開始するために、こちらのページにアクセスしてください。
https://xreading.com/



① ログインする。ユーザーネームはクラス登録で入力した各自のメールアドレスを使用。
パスワードは、メールアドレスと同じです。ログイン後に各自で変更してください。
例：Username: maiko@apu.ac.jp
Password: maiko@apu.ac.jp
入学後、読書記録を引き継ぐために、教員がメールアドレスを書き換えます。4 月以降は、Username には APU のメールアドレス(XXXX@apu.ac.jp)、パスワードはこれまでと同じものを入力してください。
② 「APU#2025 春クラス」に登録されていることを確認
③ My Page > Subscription の部分でアクセスコードを入力する
④ 準備完了、Xreading を利用可能になりました。

4. Xreading 利用開始

「Assignments」のタブをクリック → 「Add Book」をクリック → 読みたい本を探して

「Select」をクリックすれば、読書を開始できます。

詳しくは以下のビデオ（右の QR コードと同一）をご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=2J44JMlsJlg

Practical English 8（オンライン英語総合学習教材）

提供：株式会社 EdulinX

◆入学前必須課題 ※11 月･12 月合格者の方は原則必須、1 月･2 月合格者の方も可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。

APU 入学までの 2～3 ヶ月間の過ごし方によって、入学後の英語力の伸びは大きく変わってきます。入学までに基礎的な英語力を身につけるために、入学前に本オンライン教材を使って、総合的な英語力を効率よくバランスよく強化しましょう。Practical English 8 では、あなたの英語力に応じてレッスンをカスタマイズするプログラムを搭載しており、あなたの弱点の強化が図れます。問題でわからないことがあれば、いつでも「フォーラム」機能を使ってオンラインコーチに質問することもできます。

課題内容

■到達目標

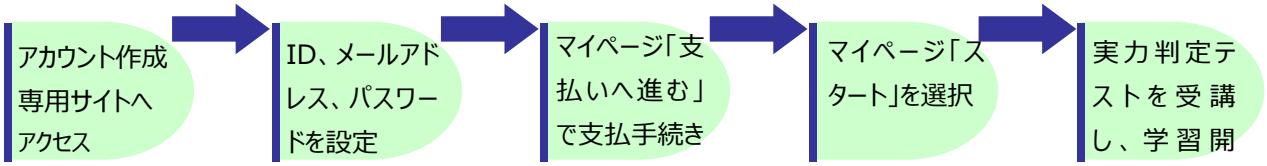
受講レベル A･B とも 100 レッスン完了
※100 レッスンを修了すると、修了証がダウンロードできます。

難易度：入門－上級（TOEIC®L&R スコア 225-990 点相当）
レッスン内容：リスニング、リーディング、文法のレッスンを合計 420 レッスン収録
平均学習時間：30－45 分／レッスン（レッスンは基礎･演習･ミニテストの 3 セクションで構成されています）

■受講のポイント

- まず Practical English 8 の「実力判定テスト」を受講しましょう。テスト結果に基づいてあなたに最適なレッスンを提案します。
- 必要なレッスン数が決まっているので、計画的に毎日学習をしていきましょう。

■受講の流れ



■申込みについて

申込み方法	インターネットでのお申込みとなります。以下のURLよりアクセスして下さい。 URL：https://go.reallyenglish.jp/ja/apu-preuniversity
申込み期間	**2024年11月11日（月）~2025年3月14日(金)**
受講料	4,785 円（税込）※受講料は各自の負担になります。
入金方法	コンビニ決済またはクレジットカード　※支払期日：お申込後7日以内 **※EdulinXキャンセルポリシー：お申し込み後(支払い手続き完了後)のキャンセル･返金はいたしかねますので、予めご了承下さい。**
問合せ先	リアリーイングリッシュサポート　メールアドレス：support@reallyenglish.jp 対応時間：9:30～18:00（定休日：土日祝日、年末年始（12/28～1/5 予定））
備考	インターネットが接続されているパソコンもしくはタブレット端末･スマートフォンが必要です。 動作環境は予告なく変更となる可能性があります。最新の動作環境は以下からご確認ください。 ☞https://info.reallyenglish.jp/system_requirements

数学課題：AI 教材 atama+

提供：atama plus 株式会社

※11 月・12 月、1 月・2 月合格者の方は可能な範囲で取り組んでください。3 月合格者の方は対象外となります。

入学前課題の 1 つとして数学を課しています。教材は AI 学習教材「atama＋」を使用します。

atama＋とは、各学部が指定した学習単元について、AI が学習者の理解度を判定しながら苦手なところに絞って個別カリキュラムで学習できるシステムです。

皆さんの入学後の活躍に向けて、各学部が独自に単元を指定していますので、入学までの多忙な時期だとは思いますがぜひ積極的に学習に取り組んでください。

課題内容

■到達目標

学部が指定する学習単元を全て修了すること。（指定される単元は、入学後に所属する学部によって異なります）

■受講のポイント

学部によって、特に重視する数学の単元が異なります。いずれの学部でも、入学後の授業に必要な基礎学力の範囲を指定しておりますので、本冊子の「APU 生に求められる力とは」に記載の「■数学」の箇所を確認した上で数学課題に取り組んでください。

■申し込み方法・期限・費用等

申込方法	申し込みフォームよりお申込み（詳細は下記の「受講の流れ」をご確認ください）
申込期間	2024年11月20日（水）～2025年3月20日（木） ※計画的な学習のため早期のお申込みを推奨します。 ※申込期間以外のお申込みはできませんのでご注意ください。 ※申し込みフォームのメンテナンスにより一時的にお申込みができない可能性があります。その際は恐れ入りますが別の時間帯にお申込みをお願いします。

学習期間	atama＋アカウント受領（2024 年 11 月 20 日（水）以降）～2025 年 3 月 31 日（月）23 時 59 分まで ※お支払い完了後、お申込者様へ atama＋アカウントをメールで送付します。 ※指定単元は予め設定されています。 ※お申込み・お支払いに不備がある場合は atama＋アカウントを発行できませんのでご注意ください。
受講料	8,250 円（税込）
支払方法	クレジットカード、Apple Pay、Google Pay（※支払者は入学予定者と同一でなくても問題ありません）
備考	■インターネットに接続されているパソコン・タブレット・スマートフォンが必要です。 ■atama＋のご利用は日本国内での利用を前提としております。海外でのご利用は国・地域の事情等により制約が生じたり、ご利用できない場合があります。 ■サポート環境は以下の通りです。 ●パソコン ・Windows10,11 × Chrome最新版 ・macOS Big Sur,Monterey × Chrome最新版 ・ChromeOS最新版 × Chrome最新版 ●タブレット ・iPadOS16,17 × Safari ・Android9～14 × Chrome最新版 ●スマートフォン ・iOS16,17 × Safari ・Android9～14 × Chrome最新版

■受講の流れ

1．お申込み・お支払い

① 以下の申し込みフォームより、お申込みください。

◆申し込みフォーム：https://forms.gle/4aweJPmnBxCiiXw28

※申し込みフォームには以下をご登録いただきますので、予めご確認ください。

●申し込みフォームの内容

・ご入学者様の氏名、ふりがな、メールアドレス、学年、受験番号（数字 8 桁）、入学される学部名、入試形式

・ご入学者様の UNITE Program 修了有無（有の場合は UNITE Program の atama＋ID）

② お申込み完了後、お申込者様のメールアドレス宛てにお支払い手続きのご案内をお送りします。
その案内に沿ってお支払い手続きを行ってください。

※支払者は入学予定者と同一でなくても問題ありません。

※お支払い方法はクレジットカード、Apple Pay、Google Pay になります。

2．学習開始

お支払い完了後、お申込者様のメールアドレス宛てに atama＋ご利用に必要な ID 情報をお送りしますので、メールをご確認の上、学習を開始してください。

※指定単元は予め設定されています。

※お申込み・お支払いに不備がある場合は atama＋アカウントを発行できませんのでご注意ください。

■お問い合わせ先

◆お申込み・お支払い・atama＋に関するお問い合わせ

atama plus　お問い合わせフォーム

https://product.atama.plus/#applicant-inquiry

入学者向け推薦教材（推薦図書・映画等）

このページでは、それぞれの学部ごとの推薦教材や、入学後の学びにつながる図書や映画を紹介しています。
入学までの期間に、推薦教材に取り組み、読書や映画鑑賞を通して、知識や多様な考え方を蓄え、大学での学びに活かしましょう。

推薦教材一覧

■アジア太平洋学部（APS）入学者向け推薦図書・映画

図書：「社会学入門-人間と社会の未来」／見田 宗介著
「中東を学ぶ人のために」/末近 浩太/松尾 昌樹編
「22 世紀の民主主義ー選挙はアルゴ リズムになり、政治家はネコになる」/成田 悠輔著
「菊と刀」ルース・ベネディクト著
「21 Lessons: 21 世紀の人類のための 21 の思考」/ユヴァル・ノア・ハラリ著
「Animal Farm」/George Orwell 著
「The Secret History」/Donna Tartt 著
「Justice: What's the Right Thing to Do?」/Michael Sandel 著
「Guns, Germs And Steel」/ Jared Diamond 著 ※英語基準向け
映画：「椿三十郎」／黒澤 明（1962 年公開）
「ニュー・シネマ・パラダイス」／ジュゼッペ・トルナトーレ（1988 年公開）
「ペルセポリス」/マルジャン・サトラピ・ヴァンサン・パロノー（2007 年公開）
「ホテル・ルワンダ」/テリー・ジョージ（2004 年公開）
「セントラル・ステーション」/ヴァルテル・サレス（1998 年公開）
「裸足の季節」/デニズ・ガムゼ・エルギュヴェン（2015 年公開）
「テルアビブ・オン・ファイア」/サメフ・ゾアビ（2018 年公開）
「インビクタス 負けざる者たち」/クリント・イーストウッド（2009 年公開）
「在りし日の歌」/ワン・シャオシュアイ（2019 年公開）
「スラムドッグミリオネア」/ダニー・ボイル（2008 年公開）

■国際経営学部（APM）入学者向け推薦教材

〈留意事項〉

※次の課題は提出する必要はありません。ただし、レポートを書く練習や論理的思考力の向上につながるので、それぞれの「Question」に対して自分なりの答えを出すことをお勧めします。

※英語の記事や動画となります。読解が難しい場合、翻訳サイトを活用する等しても構いません。

Topics for APM Pre-Enrollment Assignment as part of Pre-Enrollment Education

Assignment 1 (Submission due date: Friday, December X)

Read the following document and answer the question below.

Singh, S. (May 2022). From Pandemic To Endemic: Transitioning Your Business Into The New Normal. *Forbes.* (Article) https://www.forbes.com/sites/forbesbusinesscouncil/2022/05/05/from-pandemic-to-endemic-transitioning-your-business-into-the-new-normal/?sh=66f80f951484
Question: Find one company and describe how this company has transitioned its business in a new normal (350-500 words)

Assignment 2 (Submission due date: Friday, January X)
Read the following document and answer the questions below.
The Japan Times. (June 2023). Weak yen now the key to stronger currency and BOJ pivot later. *The Japan Times.* (Article and Audio) https://www.japantimes.co.jp/news/2023/06/28/business/weak-yen-boj-pivot/
Question 1: In your own words, define what is depreciation? (write your answer within 50-100 words)
Question 2: What does the depreciation of the Yen mean to the economy and business? (write your answer within 250-350 words)
Question 3: What have we learned from this depreciation of the Yen? (write your answer within 100-150 words)
Assignment 3 (Submission due date: Friday, Feb X)
Watch the following video and answer the questions below.
UNDP (n.d.). *Business and sustainable development: can they work for each other?* (Video). https://www.undp.org/sdg-accelerator/business-and-sdgs
Question 1: In your own words, define what is SDGs? (write your answer within 50-100 words)
Question 2: In your own words, explain why SDGs is important for business? (write your answer within 100-150 words)
Question 3: Give 1 example of company that embraces the SDGs and how this company tackles or aims to achieve these SDGs (write your answer within 250-350 words)

■サスティナビリティ観光学部（ST）入学者向け推薦図書・映画

図書：「SDGs―危機の時代の羅針盤」／南 博・稲場 雅紀著
「観光学ガイドブック―新しい知的領野への旅立ち」／大橋 昭一/橋本 和也/遠藤 英樹/神田 孝治【編】
映画：「不都合な真実」／ドキュメンタリー映画（2006 年公開）
「Before the Flood」ドキュメンタリー映画（2016年公開）

FIRST プログラム

FIRST（Freshman Intercultural Relations Study Trip）は、クオーターブレイク休暇を利用して海外へ行き、初めて出会う人々との交流や調査活動を通して、アジアの文化・社会に直接触れる短期集中プログラムです。調査活動の目的地は現地到着後くじ引きで決定され、多くの場合、観光では訪れないような小都市が指定されます。参加者は少人数のグループに分かれ、言葉の通じない土地で自分たちの力だけで目的地を目指し、現地の市民の方にアンケートやインタビュー調査を行います。プログラムを通じて異文化理解を深めると共に、コミュニケーション能力を身に付け、APU の国際色豊かなキャンパスライフを最大限に活用する力の獲得を目指します。

目的地は「くじ引き」で決まる！？

「FIRST」最大の特徴は、慣れない土地・文化・言語の中で、体当たりで調査活動を行うことです。学生たちは少人数のグループごとに事前授業で学んだ現地の言葉を駆使しながら、「くじ引き」で決まった目的地へ向かいます。到着後は、事前に設定した各グループの調査テーマに基づきアンケートやインタビュー調査を行います。帰国後、調査活動の結果をまとめてクラスで発表します。

こんな学生におすすめ

APU では授業でグループワークがたくさん行われます。FIRST は、コミュニケーション能力、グループで協働する力、異文化理解力、チャレンジ精神、問題解決力、プレゼンテーション能力など、APU で必要となるさまざまな力を伸ばすチャンスになります。「授業内外で異文化の学生ともっと交流したいけれども勇気が出ない」「交換留学やその他の海外学修プログラムに参加したいけれども自信がない」そういった学生にぜひ参加をおすすめします。

実施概要（春セメスター実施 国内学生向けプログラム）

申請期間	2025年4月上旬
申請資格	1～2セメスター生の国内学生および日本語基準国際学生 ※詳細は募集要項（2025年2月下旬～3月上旬公開予定）で確認してください。 ※募集要項はAPU Off-campus Programs Webサイトに掲載されます。
申請方法	APU Off-campus Programs Webサイトより、オンライン申請。 ※申請には志望理由（日本語600字程度）が求められます。 ※申請にはパスポートに記載されるローマ字氏名が必要です。 ※APU Off-campus Programs Webサイト（FIRSTページ） URL：https://www.apu.ac.jp/abroad/program/?category=&pgid=1
現地実習期間	2025年度春セメスター クオーターブレイク中の5日間 ※2025年度春セメスター クオーターブレイク期間は、2025年5月29日（木）～ 6月2日（月） ※現地実習期間の前後には事前授業（8回）および事後授業（４回）が実施されます。
派遣先	韓国を予定しています。
募集人数	150名程度
受講料	約80,000円（予定） ※プログラム費には主に実習費、渡航費、海外旅行保険料、安全対策のための通信費が含まれます。 ※現地での交通費、宿泊費、食費は、プログラム費に含まれません。 ※航空券価格や燃油サーチャージの変動により受講料が変更となる可能性があります。
備考	パスポートの取得手続きについて FIRSTに参加するためにはパスポートが必要です。参加を検討している新入生のうち、まだパスポートを所持していない方は、あらかじめパスポートの発行手続きを行いましょう。特にAPU入学に際し一人暮らしを始める方は、入学前までにパスポートを取得することをおすすめします。すでにパスポートを取得している場合であっても、渡航のために必要な十分な残存有効期間がない場合には、パスポートの更新手続きが必要です。

担当教員からのメッセージ

APU に入学したら多文化キャンパスからさらに一歩踏み出して自分を試してみる。それによって APU での学びを理解し、グローバルな視点を持つきっかけにする。この目的のために、これまで多くの学生たちが世界への一歩を踏み出してきました。FIRST の最大の特徴は「異文化オリエンテーリング」です。少人数のグループに分かれ、最小限の現地の言語、チームワークそして積極性をもって、指定された現地の町に自力で行き、そこで現地の方々の協力を得ながらアンケート調査やインタビューを行います。多くの方々との出会いを通じて、積極性と自信を身に付けます。FIRST は自分の殻を破り成長する機会になりえます。渡航する国の出身者を含む先輩学生も同行しますが、あくまでも主役は参加する学生、みなさんです。

「FIRST」をきっかけに学外での学びに興味を持ち、海外言語研修、教員が引率する各学部の専門分野に関する海外学修プログラム、さらには交換留学などの長期プログラムに参加する学生もたくさんいます。「FIRST」は APU で最初に体験する「世界へのとびら」です。

担当教員 立山 博邦
教育開発・学修支援センター 准教授

入学前課題　教材/プログラムスケジュール

入学前教育教材（英語Pratical English8、数学atama+）

	日付	内容
2024年 11月		※課題は早めに開始して、継続的に取り組みましょう。 ※英語課題はPractical English 8 以外にもあります。詳細は本冊子各課題のページを確認してください。
	11日	**英語　Practical English 8 申込開始日**
	20日	**数学atama+ 申込開始日**
12月		11/11-3/14 英語 Pratical English8 申込期間
2025年 1月		数学課題 atama+ の申込期間は合格発表日によって異なります。詳細は [入学前教育教材 (数学学習課題)] のページに記載されている「申込期間」を確認してく
2月		
3月	**14日**	**Practical English 8 申込最終締切切日**
	14日	**atama+ 申込最終締切切日**
4月		

【問い合わせ先】

立命館アジア太平洋大学
アカデミック･オフィス　入学前教育担当
E-mail:apunmk@apu.ac.jp

※お問い合わせはメールにてお願いいたします
※教材に関するお問い合わせは各ページ掲載のお問い合わせ先にご連絡願います